

東西南北県人往来②

全国で活躍する県人の皆さんが集う各県人会の成り立ちや様子、あるいはふるさと徳島の懐かしの思い出などを、各県人会ごとに自由に語っていただくコーナーです。

懐かしき母校の松と阿波踊り

七條和子

(徳島交流大使)

阿波市吉野町出身。昭和43年阿波高校卒業。19歳で大阪の専業農家に嫁ぐ。一男、二女の子宝に恵まれ、子ども達はそれぞれ家庭を持ち、徳島、箕面、豊中市で暮らす。今では“農の匠”と言われる3歳上の夫と近郊農業を営む傍ら、大阪天水連結成に関わり副連長として阿波踊りに情熱を傾ける。大阪天水連副連長。箕面市在住。



よしこのメロディーに誘われ大阪の地で阿波踊りの世界に飛び込み、気がつけばいつの間にか23年の月日が流れていました。

思えば私が、見る阿呆から踊る阿呆になったきっかけは、38年前の弟の結婚式での阿波踊りに廻ります。今となつては本場に珍しい、500メートルにも及ぶ花嫁出迎え道中での踊りを、有名連である蜂須賀連の方々に披露して頂き、感動したことが発端だと、懐かしき思い出されます。そして、子育てが一段落した頃、在阪の連に入連し、平成7年大阪天水連結成に伴い本格的に阿波踊り人生がスタート

トとなりました。

毎年、本場徳島の阿波踊りに参加する度に「よくぞ徳島の先人は400年以上もの間、この阿波踊りを守り通してくれたものだ」と感謝しつつ、熱き束の間の徳島の踊りを楽しませて頂いております。そして今もなお進化し、洗練され続けてゆく阿波踊りのエネルギーと情熱を、一杯吸収し、大阪での一年間の大きな原動力となっています。

また「なつとくしま号」で、すだち君と共に徳島の新鮮野菜や物産などが近畿でPRされる時、私達も阿波踊りで参加をし、行く先々で皆様に喜んで頂いております。そして、わが母校・阿波高校の松とともに思い出す故郷への恩返しが、この様な楽しい形でお手伝い出



▶大正14年に植樹されて以来、阿波高校の歩みを見守っている黒松

来る喜びを、可愛いすだち君を見ながら感じております。2008年放送されたNHK大河ドラマ「篤姫」でのラストシーン、「誰もが天命、果たすべき何かを持って、この世に生まれて来る」の台詞に感動いたしました。本当に天命というものが有ると

するならば、私は大阪において阿波踊りの楽しさと魅力を、なお一層皆様にお伝えしたいと思うのです。これからどうか、徳島の文化的財産である阿波踊りのバトンを、次の世代へ、さらに次の世代へと大事に手渡し続けて行って欲しいと願うのみです。

今年の夏もまた、大勢の方々に徳島へ行って頂きたく、私達大阪天水連挙げて、楽しく踊りでPRしていきたいと思っております。

Memo 徳島県人会近畿連合会

大正末期ごろに「在阪徳島県人会」及び「阿波会」が結成され、県人相互の親睦と郷土との交流が行われた。戦後の混乱期を経て、世情が安定してきた昭和26年に各県人会を統合し「近畿徳島県人会」を設立。その後、「地区県人会」が誕生したので「大阪県人会連合会」に変更。昭和35年に「徳島県人会大阪連合会」、昭和41年には「徳島県人会近畿連合会」に改称し現在に至る。会員の高齢化と新規加入者が減少しているため、会員募集のチラシを作成し、個人会員、法人・団体会員（ふるさと会、同窓会等）の入会を促進し、組織の活性化を図っている。主な事業は、県人の集い（総会）、新年互礼会、関西すだち会（ゴルフコンペ）、阿波踊りバスツアー、講演会等。ホームページで折々のホットな情報を発信している。会員数は約4千人。

●連絡先／〒542-0081 大阪市中央区南船場3-9-10(徳島ビル5階) TEL/FAX 06-6251-0666

●e-mail : kinki-tokushima@lion.ocn.ne.jp ホームページ : <http://kinki-tokushimakenjinkai.betoku.jp/>



徳島県人会近畿連合会 会長
中谷 嘉明氏